

記者席

ふ機会が増えて喜んで
いた。

教室の充実は、文化

教室はいつも笑顔で

あふれている。徳島市

の市民団体・JTMと

くしま日本語ネットワ

ークが、日本語を母語

としない県内の小

中高生対象に開い

ている日本語教室

「にほんご寺子

屋」。何度か取材

で訪れたが、学び

を楽しむ子どもた

ちが集まってい

た。

JTMとくしま

は6月から、教室

を月1回から週1

回に拡充した。「漢字

も分かるようになった

ので、もっと勉強でき

るのはうれしい」。2

年前から教室に通って

いるフィリピン出身の

男子高校生(15)は、学

だ。
(藤田純)

県や市町村の援助も必要

円。足りない分
は、会員が資料代
などを負担し合っ
て支えてきた。

「活動の原動力

は子どもたちの笑

顔」というJTM

とくしま。保護者

向け教室も月1回

開くほか、現職教

諭らを対象にした

日本語指導者養成

セミナーも計画してい

る。文化庁の助成で本

年度は資金面の心配は

ないが、支援策として

定着させるには、県や

市町村の援助も必要